

8月6日(日) 平泉から鳥海山麓へ 快晴・猛暑

○今日はこの旅の中で初めての休息日。中尊寺で有名な平泉を初めて訪れる。

- ・おかげさまで昨夜はぐっすりと眠れた。やはり国道沿いの道の駅は夜を過ごす車が多く、私と同じように車を宿にしている人も大勢いて安心して寝られた。
- ・コーヒー、がんずき(東北のパン)、牛乳、トマトという豪華な朝食をとり、8:00前に中尊寺に向けて出発。巖美溪からはすぐ近くで15分ほどで到着。
- ・上の中尊寺の駐車場に入れたが500円も取りおまけに案内図など何もくれない。500円を返してもらって下の山門の前にある市営駐車場に入れなおした。まだ朝早いので空いているが、昼はかなり混みそう。ここは400円で中尊寺の詳しい案内図をくれるし毛越寺(もうつうじ)の割引駐車券もくれる。山門からすべて歩けるし、ぜったいこの駐車場を使うべきである。



早朝の中尊寺参道

- ・金色堂では入場料800円も取られおまけに撮影禁止。まわりに誰もいないので、撮影禁止だが知らぬ振りしてシャッターをパチリ。



金色堂が入っている建物



中尊寺本堂

- ・まだ朝早いめか、今日は日曜日というのにおとづれる人も殆どなく静かな散策を楽しめた。

- ・山門では女の方が3人で落ち葉の掃除をしていた。静かな参道をくまなく歩き、歴史を感じる様々な建物を見てまわった。



金色堂

- ・さすが日曜日、金色堂を出るころには、あとから後から人が沸いてきてすごい混雑。おまけに太陽が照りだしたのでめっちゃ暑い。中尊寺は一通り回ったので急いで退散。毛越寺へ。



毛越寺本堂

- ・快晴・猛暑の中車を走らせすぐ近くにある毛越寺に着いたが、ここは知名度がないのか訪れている人も少なく、広い駐車場もがらがら。でもここは静かでなかなか良い庭園だ。
- ・ここは芭蕉がかの有名な俳句「夏草や兵どもが夢のあと」を詠んだところで、風雨にさらされ文字が見えなくなった句碑がたっている。



芭蕉の句碑



毛越寺庭園

- ・平泉の観光も昼ごろには終わり、快晴・猛暑の中、今夜の宿に予定している鳥海山南麓の滝の小屋へと急ぐ。ナビでは180kmあり到着は17:00と出ている。
- ・ちょっと遅くなりそうなので道中を急ぐ。昼食はセブンイレブンのおにぎりを走りながら頬張り、目的地に向けてひた走る。道も良いし空いているし、ナビの予定より1時間以上も早い3:30に南麓の駐車場に到着。あとは今夜の宿「滝の小屋」まで登り20分だ。

- ・明日登る鳥海山の登山準備を十分整えて駐車場を後に登りにはいる、と思ったら、登り口で岡田夫妻と松本君子の3人パーティーが下りて来たのとばったり出くわした。驚きの一瞬だった。

・3人と記念撮影をして別れを惜しみながら私は滝の小屋へ、彼らは横浜への帰途についた。



思いもよらずバツタリ



夕方の鳥海山と滝の小屋

- ・4:00に滝の小屋に到着。小屋には小屋のおじさん一人と手伝いのおじさん二人の男3人。小屋のおじさんに「時間通りだね」と褒められ、記帳して小屋に入る。久しぶりの山小屋だ！
- ・昨日は日曜日で込み合い、この小屋に48人も泊まったとのこと。今日は9人の予定。鳥海山が後ろに見えるが、時々ガスがかかったりしてきれいに暮れていった。

・宿泊客9人のうちおじさんに作ってもらった夕食を食べたのは私と夫婦一組の3人だけ。あとはみなさん素泊まりの自炊だ(素泊まり2500円、夕食1000円)。我々の夕食は野菜炒め、すじ子、いわし缶詰、なすの味噌汁・・・こんな料理で1000円?! まあ男料理じゃ仕方ないか。でもビール(500円)を2缶も飲んで、うまい夕食だった。5時に夕食完了。

・気分よく、明日の鳥海山を楽しみに6:00すぎに就寝。外は満天の星空。明日朝は早いぞ！